

やってみよう！やさしさ伝えるその一歩 「2023 ボランティア体験 in いわて」実施要項

1 目的

子どもから大人までの多世代が自分たちの住む地域への理解・関心を深めながら、ボランティア活動の意義を学び、継続的に参加するきっかけづくりを図ります。

また、体験プログラムの提供を通じて多様な施設・団体の参加を促し、ボランティアの活動機会の裾野を広げ、ボランティア活動に関心を持った方々が、身近な地域でボランティア活動に参加できる環境を整えます。

あわせて、各種施設・団体の活動への理解を促し、将来的な人材確保の取組の一助とすることを目的とします。

2 主催

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

3 共催（予定）

市町村社会福祉協議会、岩手県ボランティア団体連絡協議会、ボランティア体験受入施設・団体

4 後援（予定）

岩手県、岩手県教育委員会、岩手県社会福祉協議会（市町村社会福祉協議会部会、保育協議会、児童館・放課後児童クラブ協議会、児童福祉施設協議会、高齢者福祉協議会、障がい者福祉協議会、岩手県社会福祉法人経営者協議会）

5 体験期間

令和5年4月1日から令和6年1月31日までの10か月間のうち、受入施設・団体が定める期間

6 体験場所

県内の社会福祉協議会、受入施設・団体等の指定する場所

7 参加対象

ボランティア活動に参加したい方

※ 受入施設等によって、小学生の参加には保護者同伴を条件とする場合があります。

8 募集人数

受入施設・団体が指定する人数

9 体験内容

- 各施設、団体等が行うイベントや日頃の活動に関するボランティア活動
- 復興支援に関わるボランティア活動
- 小地域の福祉活動
- 社会福祉協議会がコーディネートするボランティア活動
- その他、地域住民、児童・生徒及び親子等が参加可能なボランティア活動

プログラムの一例は、別紙1「2022ボランティア体験プログラム一覧」を参照ください

10 体験プログラムの募集

令和5年4月1日から令和6年1月31日までの期間前及び期間中に随時募集します。

募集の流れについては、別紙2「ボランティア体験実施の流れ」をご覧ください

11 体験申込み

体験希望者は、岩手県社会福祉協議会又はずっぱりボランティアいわてホームページの「2023ボランティア体験inいわて」コンテンツから、希望する施設・団体を選択し、申込方法を確認の上、それぞれの施設・団体の指定に従って申し込みます。

12 経費負担

活動諸経費（ボランティア活動保険料、交通費、昼食費等）は、原則として参加者負担とします。

13 ボランティア活動保険への加入

万一の事故に備えて、参加者にボランティア活動保険への加入を求めます。

14 参加証明書の発行

希望により、参加者には、プログラム受入施設・団体を通じ、学校又は勤務先に提出可能な参加証明書を発行します。

15 その他

本事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、内容に変更が生じる場合がありますのであらかじめご了承ください。